

総務政策局教育政策課長 様

北海道白糠高等学校長

令和2年度 北海道立学校ふるさと応援事業実施計画書

令和元年度北海道立学校ふるさと応援事業について、次のとおり実施したいので、関係資料を添えて提出します。

記

事業名	主体的・対話的で深い学びの実現を図る学習環境の充実
事業内容 (具体的に記載)	各教科・科目の学習における、主体的・対話的で深い学びの実現を図るため、現在の「アクティブラーニング教室」の備品を整備する。 具体的には、生徒用の机、椅子をアクティブラーニングに適したものに交換するほか、グループワーク等に利用するホワイトボードなどを整備するとともに、専用のプロジェクターとスクリーンを設置する。
事業の必要性 (課題・背景等)	本校では、令和元年度入学生から、地域を担う人材の育成を図るため、総合的な探究の時間において、「白糠学」と題し、生徒が地域の理解を深めながら、課題の発見と解決に向けて、主体的・協働的に取り組む学習を行っている。 こうした学習においては、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動や、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるよう工夫することが大切であり、その際、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるように配慮することが求められていることなどから、こうした学習に適した専用教室の整備が必要である。 なお、本校は、白糠町からの支援により、生徒用のタブレット端末及びWi-Fi設備などの通信環境は既に整備済みであることから、本事業においては、上記の事業内容に記した備品等の希望する。
目標金額	<u>1,100千円</u>